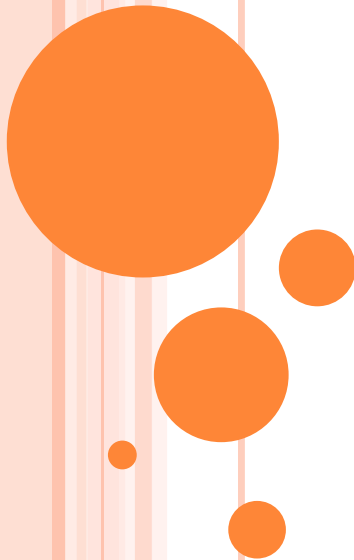


鹿児島トヨタ自動車株式会社 SDGsへの取り組み

鹿児島トヨタは、国連が提唱するSDGs (**Sustainable Development Goals**: 持続可能な開発目標) の実現と地域課題の解決を目指します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



3 すべての人に 健康と福祉を



ゴール3

あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

ターゲット:3-6

道路交通事故による死傷者を半減させる

鹿児島トヨタの取り組み

- クルマ(交通安全と環境など)に関する地元小学校へ出張授業「トヨタ未来スクール」の開催
- サポカー(セーフティー・サポートカー)の販売普及による交通事故の発生防止・被害軽減への貢献
- 自動車教習所での高齢者ドライバーへ安全運転講習およびサポカー体験会の開催

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに



ゴール7

全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを可能にする

ターゲット:7-2

世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる

鹿児島トヨタの取り組み

- エコカー(地球にやさしいクルマ)の販売・普及活動によるCO₂排出削減
- 従来のエコカーに加え、燃料電池自動車(FCEV)電気自動車(BEV)などゼロエミッション車(ZEV)の販売・普及
- 各種イベントでのエコカー展示および啓蒙活動の強化



8 働きがいも 経済成長も



ゴール8

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

ターゲット:8-5

若者や障害者を含む全ての男性及び女性の完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する

鹿児島トヨタの取り組み

- 「鹿児島トヨタ自動車健康宣言」に基づき社員及び家族の健康保持・増進と健康で快適な職場環境の形成を目的として活動
- 従業員が生き生きと働けるように、相互信頼・相互責任の精神に則り、互いに思いやり、それぞれの考え方や立場を尊重
- 従業員が誠実に仕事を取り組み、新しい価値の創造を目指すことができるよう、個々人の自己啓発・成長を支援

11 住み続けられる まちづくりを



ゴール11

包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する

ターゲット:11-2

脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により全ての人々に安全かつ安価で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する

鹿児島トヨタの取り組み

- ローカルモビリティ(自家用有償旅客運送「地域の足」など)の導入・普及活動による持続可能な交通システムの構築
- 高齢化や過疎化による交通弱者(買い物・通院難民)を救済し、いつまでも住み続けられるまちづくりに貢献



鹿児島トヨタは「鹿児島県SDGs登録事業者」として登録しています。

鹿児島県SDGs登録事業者 登 録 証



KAGOSHIMA
SDGs

鹿児島県SDGs登録事業者として登録し、ここに証します。

登録事業者：鹿児島トヨタ自動車株式会社

登録期間：令和5年3月27日から令和8年3月26日まで

令和5年3月27日

鹿児島県知事 塩田 康一

